

# 「地域関係室」室方針

室長 浦野 学  
副室長 佐藤 利彦

## 【基本方針】

私たち上越 J C が活動する上越市は 2014 年に高田開府 400 年、翌年には北陸新幹線全線開通など地域に大きな変化をもたらす事柄を迎えようとしています。変化とは常に良い結果が生まれるとは限りません。将来を想定しより良い結果を得る為に行政は勿論、様々な諸団体が行動をしている中、地域に根差し明るい豊かな社会の実現を基本理念に掲げる青年会議所だからこそ、あらゆる諸問題に対し青年が持つ自由な発想と失敗を恐れず積極果敢に取りに組む行動こそが今求められているのではないのでしょうか。

北陸新幹線開通後の信越線・北陸本線を基軸とした並行在来線問題に対し、実験的な路線の利用法を実践します。その上で、移動手段の一つである路線に地域特性を生かした活用や、利用しなければ体験できない目的を持たせるなどの付加価値を盛り込み、今後の可能性を追求します。そして路線が運行されている他地域との連携をあらゆる角度から検証し、共に協働しながら広域的な波及効果を地域間で模索します。さらに行政を含めた関係団体と理念を共有し、協力を得ながら連携を計り、上越地域全体で問題に取り組み地域に不可欠な必要とされる並行在来線の在り方を探求します。同時に地域の負託と信頼が不可欠な青年会議所において、地域の皆様に元気や活力を得ていただける上越 J C の顔となる事業を実施します。はすまつりを盛り上げるべく毎年開催されている上越オクトーバーフェスト IN はすまつりを上越 J C 主催で行い、ドイツ収穫祭としての側面は継承しつつ、青年会議所として事業に主題を設け市民の皆様に発信します。また性別年齢を問わず多くの方たちに楽しんで頂ける設営を行います。さらにあらゆるメディアを活用し地域外の方たちに広く宣伝すると共に、上越 J C を代表する継続可能な事業の礎を構築します。

地域に根付き必要とされる青年会議所が、あらゆる諸問題に自らが積極的に関わり、考え実践し結果を残すことが地域の更なる発展に必要と断言します。上越 J C が時代の流れに敏感に反応し、あらゆる諸団体と連携を構築しながら地域を率先して盛り上げることで上越地域が明るく元気な地域となると確信しています。

## <運営方針>

1. 継続可能な市民参加型の事業を構築します
2. 検証や提案ではなく実践による結果を示します
3. 自らが楽しめる活動を展開します